

J03-03 スプレッド, スパンの測定と調整

Spread of the Work

艇軸からソールピンまでの水平距離をスプレッド, スカルでは左右のソールピンの間隔をスパンといいます. オールのテコ比やハンドルの描く円弧運動の位置調整のために重要です.

1 リガースプレッド

Spread

リガースプレッドとは, 艇の中心から, オールロックのピン(回転軸の中心)までの水平距離のことです. 特にスイブ艇の場合に測定します. 測定は, キールライン上に補助棒を1本たてて, そこからオールロックピン(軸中心)までの距離(スプレッド)を, メジャーやロッドなどを使って測定します.

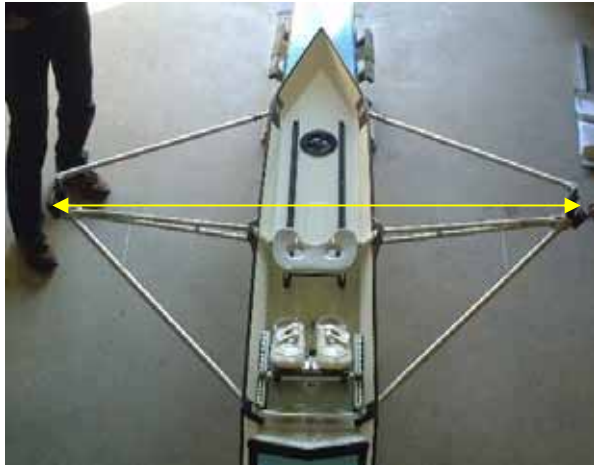


スプレッドは艇軸からソールピンまでの水平距離のこと

2 スパン

Span

スパンとは, スカルで, 両側のオールロックピン(回転軸の中心)の間隔をいいます. テープメジャーを使って, 測定します.



スパンとは, 左右のオールロックの回転軸の軸間距離

3 調整方法

スプレッドやスパンの調整は, リガーステイの機構によっていくつかの方法があります.

L板の長穴でシャフト位置を調整する.

リガーステイの伸縮機構の利用.

上下部の軸受けの多少の横方向の位置調整しるがある.

リガーステイの固定部分にスペーサを挟んで調整する.

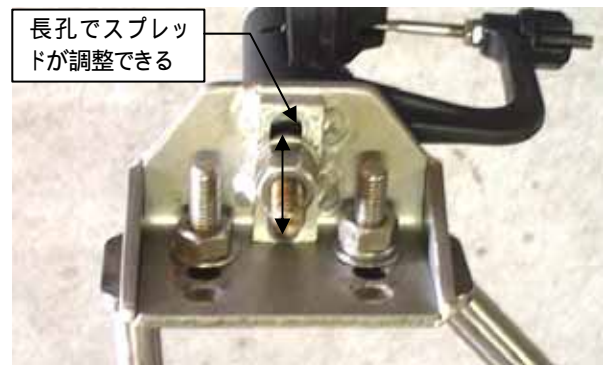
特別なL板を作る.

いくつかの事例を, 次に説明します.

3.1 L板による調整

Base Plate

規格艇に多いタイプで, リガーステイ先端に2つのボルトが突き出し, そこに取り付けられたL板にスプレッド(スパン)調整用の長穴がある場合です. 調整は, スプレッド計測の後, オールロックシャフト(あるいは台座)のL板への固定ボルトをゆるめ, 長穴の中で固定位置を変更します.

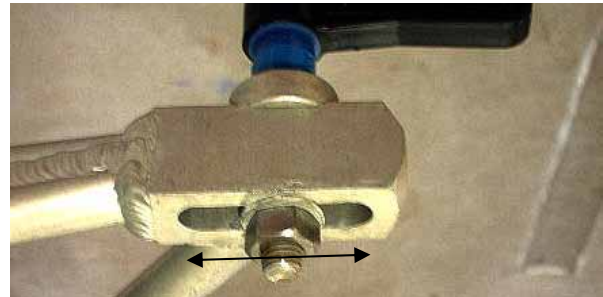


L板は, 長穴の位置でスパンを調整できる.

3.2 調節型リガーによる調整

Adjustable Rigger

リガーステイ(センターステイ)の端が, 長孔になっていて, 調整できるタイプがあります.



スパンが調整可能なリガー



スパンが調整可能なウイングリガーの軽合金ブロック